

市長のタウンミーティング 道下地区

(敬称略)

	開催日時	令和元年11月18日(月) 19:00~21:10
	会場	道下公民館
	参加人数	43名
	開会挨拶 書記	道下地区振興協議会長 大崎 勇 石浦 健介

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	道下	行財政改革	職員数の削減は、自治体にとってたいへん難しい問題だと思う。魚津がどうという話ではありませんが、例えば滑川は人口1万人に対して50人、黒部は80人、この差は非常に大きいと感じるが、どうしてこんなに違うのか。分析は何かされているのか。働き方改革の時代にそれだけ減らしてよいのかとも思う。どう考えておられるのか。
2	道下	ふるさと納税	ふるさと納税の入ってくる部分は言われましたが、よその町や県に出ていっている分はどれくらいか教えてほしい。
3	道下	道路整備	道下小学校の前の道で、北中神社前にカーブのところがある。そこで毎年事故が起きているので、道路の整備をしてほしい。お金のかかることだが取り組んでいただきたい。
4	道下	防災	中川用水の下に海岸から石がきて、流れが非常に悪く、高波がくると家まで海水が遡ってくる状態である。魚津の他の用水を見ても、そういったところはない。この状況は知っていたか。
5	道下	公共施設	魚津市庁舎の老朽化で耐震的に問題があるかと思います。将来的に移転等を含めた構想がありましたら教えてください。
6	道下	交通環境	あいの風の魚津駅を利用される方で、富山方面から魚津市に通勤、通学などで8時半に会社に行きたい方もしくは登校したい方は、7時30分魚津着に乗らないと時間の都合がつかなくて、その次の電車に乗ろうとすると8時15分まで約40分間が空いている。朝の通勤、通学の時間帯で、富山方面から来られる方は通勤、通学に不便である。これは3年前のダイヤ改正で、7時50分に着く電車がなくなって以降、この状況が続いている。魚津市でなんとか解決していただけないか。
7	道下	市民バス	市民バスのルートごとの時間調整のときに意見交換する場があれば、もう少し通勤、通学に便利な運行体系が期待できると思いますが、非常にもったいなかったと感じている。
8	道下	まちづくり	道下地区においては、日本カーバイド工業が一番関心のあるところと思う。あの10万坪の敷地を魚津市として、どのように考えておられるのか、現段階で構わないので聞かせてほしい。
9	道下	総合計画	市役所とかに目安箱のような市民のアイデアを投函できるものを設置していただき、それを必ず市長がチェックし、その中で良いアイデアがあれば取り入れてもらうという方法もひとつの案だと思う。
10	道下	総合計画	各地区のまちづくり検討委員会で出された内容は、市の総合計画の中にどのような反映のされ方をするのかを教えてください

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	道下地区	日時	11月18日(月) 19時00分より 21時10分まで	参加者数	43名
会場名	道下公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	こども課 石浦 健介
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの 主な参加者	地区振興協議会長、各種団体関係者ほか		

1. あいさつ

道下地区振興協議会 会長 大崎 勇

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○職員数等について

職員数の削減は、自治体にとってたいへん難しい問題だと思います。魚津がどうという話ではありませんが、例えば滑川は人口1万人に対して50人、黒部は80人、この差は非常に大きいと感じますが、どうしてこんなに違うのか。そういったような分析は何かされているのでしょうか。働き方改革の時代にそれだけ減らしてよいのかとも思いますし、どう考えておられるのかお聞かせください。

（企画総務部長）

公立保育園が滑川市は2園のみだが、魚津市は多いということで、職員数が多いという特徴が1点あります。もう1つは、それぞれの自治体の特徴もありますが、滑川市と比較してみると滑川は土木の技術職の数が少ないです。魚津は山間地だとか道路の整備だとか事業に基づいて設計する技術関係の職員が多いですが、それと比べると滑川はそういった事業が少なく、外注しているなどそういう部分もあるかと思えます。細かい点はいろいろありますが、大きくはそういった特徴があります。

（村椿市長）

一般論ですが、おそらく合併をしたところは職員が少し多いかもしれません。複数の自治体が合併したところは、急には職員が少なくならないので、少し多めに出ているかもしれません。滑川、魚津、氷見、小矢部はいずれも合併していない市です。

○ふるさと納税について

ふるさと納税の入ってくる部分は言われましたが、よその町や県に出ていっている分はどれくらいか分かりますか。

（企画総務部長）

去年魚津市は千数百万円、外からいただいた話をしていましたが、逆に出る額も同じくらいあります。ただ、魚津市の場合は、魚津市民が他の自治体に寄付をされても、その3/4は交付税で入ってきます。実際に寄付された額の25%が実質的に出るので、まだ他からいただいた方が多い状況にあります。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○道下小学校前の道路整備について

道下小学校の前の道で、北中神社前にカーブのところがああります。そこで毎年事故が起きているので、道路の整備をしてほしいというのが私の願いです。お金のかかることですけれども、取り組んでいただきたいです。

（村椿市長）

この道路は確かに狭いとは思いますが、しかしながら、一度に全部広げることは難しいと思われる。事故などで危ない場所を改善できないか検討しながら、一方で子どもたちの安全な通学路といったことを考えたときに、今の道路でいいのか、あるいは通学ルートを違うルートを考えて方がいいのかは検討する必要があります。要は事故の防止という対策と、通学といったことは分けて考えた方がいいとは思っています。いずれにしても、安全対策といったことが重要になりますので、その姿勢をとって考えていきたいと思っています。子

どもの安全対策は何物にも代え難い重要課題です。

(産業建設部長)

なかなか道路を広げるところがなく、産業建設部といたしましても非常に苦勞しているところでもあります。できるだけ事故の起きない対策をどのように施すか、例えば交差点の形状や、車が曲がりやすい交差点にするにはどうしたら良いかということを考えながら、今後取り組んでいきたいと考えています。

○中川用水について

中川用水の下に海岸から石がきて、流れが非常に悪く、高波がくると家まで海水が遡ってくる状態です。魚津の他の用水を見ても、そういったところはありません。この状況は知っておられましたでしょうか。

(産業建設部長)

実際に現場は見ていなかったのですが、一度建設課ほか関係課と一緒に調べてみたいと思います。通常ときには起こらないと思うので、どういったときにそういう事象が起きるか教えていただければ、そういった気象状況のときに現場に見に行こうと思いますので、また教えてください。お願いします。

○魚津市庁舎の老朽化について

魚津市庁舎の老朽化で耐震的に問題があるかと思います。将来的に移転等を含めた構想がありましたら教えてください。

(村椿市長)

市庁舎は、いざ何か事故が起きたときの拠点なので、耐震度が不十分なままではよくないということで、就任したときからどういう機能が必要かということを中心に勉強しておりました。具体的な計画を立てるためには基金をある程度持たないと難しい状況です。先送りにはできませんが、すぐにやるということもできない状況であります。できるだけ早く目途をたてたいとは思っていますが、もう少し時間をいただきたいです。

○あいの風とやま鉄道のダイヤについて

あいの風の魚津駅を利用される方で、富山方面から魚津市に通勤、通学などで8時半に会社に行きたい方もしくは登校したい方は、7時30分魚津着に乗らないと時間の都合がつかなくて、その次の電車に乗ろうとすると8時15分まで約40分間が空いています。朝の通勤、通学の時間帯で、富山方面から来られる方は通勤、通学に不便です。これは3年前のダイヤ改正で、7時50分に着く電車が無くなって以降、この状況が続いています。魚津市でなんとか解決していただけないか。

(村椿市長)

あいの風とやま鉄道ダイヤについては、魚津に合わせると他のところで合わなくなっていくといった関係性があります。あいの風がどこを起点にして合わせているのかということがありますが、魚津市としては少しでも利便性が増すようなダイヤにしてほしいと、あいの風とやま鉄道に要望してみたいと思っています。

○市民バスについて

市民バスのルートごとの時間調整のときに意見交換する場があれば、もう少し通勤、通学に便利な運行体系が期待できると思いますが、非常にもったいなかったと感じています。

(村椿市長)

市民バスについては、市としても利用者の状況を見て連絡をとっていますが、きめ細かい調整が可能かどうかは、どのような場で聞くのかも含めて考えてみたいと思います。

(民生部長)

市民バスは、地域の方々と一緒になってルート、時間割を決めさせていただいております。今実際にご利用いただいている方を優先的に組んでいるというような事情もあるかと思えます。ただ、地区の方とお話させていただいたり、情報を交換したりする場というのは、公共交通の会議というものがありますので、色々とお話しさせていただきたいと思っております。

○日本カーバイド工業の敷地について

市民意識調査にもありますが、産業振興と企業誘致というのが市民の関心のある分野と思います。道下地区においては、日本カーバイド工業が一番関心のあるところだと思います。あの10万坪の敷地を魚津市として、どのように考えておられるのか、現段階で構いませんのでお聞かせください。

(村椿市長)

これについては就任して1年目の終わりころに、日本カーバイド工業の社長とお話する中で、用地を市としてどのように活用させていただけるかという相談をスタートさせました。年に何回か相談させていただいており、最近で言えば魚津まつりの花火大会のときだけでも開放していただけないかという話をしてみましたが、色々な課題があり出来ませんでした。

将来的にどう利用できるかということも相談項目の中に入っていますが、土地の所有権や権利関係が複雑で、そこを整理しないと抜本的な利用は難しいとのことでした。跡地に施設を造るとするのは難しいとの意見はいただいております。利用するとしても面的な利用というのを考えるのが現実的だという風に思っています。ただ、市民のみなさんはそういった制約を抜きに、是非なんでもご意見を言っていただきたいと思います。

日本カーバイドの事務棟が滑川に移りました。10万坪の敷地をカーバイドが今後どのように利用されたいのか、市長はご存じなのかどうか。私たちが子供のころから、日本カーバイドのおかげで魚津市が成り立っていたという風に聞いております。もし万が一、日本カーバイドさんがこの敷地をどこかの企業に転売をされたりするとどうなのかなとも思います。機会がありましたら、この件についてもご相談いただきたく願います。

(村椿市長)

なんとか活用したいという思いは一緒なので、恒久的な利用でなくともイベント的な利用でもよいので、まず一步を始めようということで相談しております。粘り強くお互いどうすれば良くなるか、という思いで話をしておりますし、是非市民のみなさんから後押しをいただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○市民のアイデアについて

例えば市役所とかに目安箱のような市民のアイデアを投函できるものを設置していただき、それを必ず市長がチェックし、その中で良いアイデアがあれば取り入れてもらうという方法もひとつの案だと思いますのでよろしくお願いします。

(村椿市長)

ありがとうございます。今現在も「市長への手紙」(電子メールと市役所一階ロビーご意見箱)というものはありますが、そこでは言いにくいということもあるかと思しますので、意見をいただきやすいような方法を考えていきたいと思えます。

○各地区まちづくり検討委員会での提案内容の市総合計画への反映について

各地区のまちづくり検討委員会が出された内容は、市の総合計画の中にどのような反映のされ方をするのかを教えてください。

(村椿市長)

新しい市の総合計画は令和3年度からということで、地域の皆さんにその検討をしていただいているところでございます。市としては各地区のいろんな構想、夢をできる限り拾っていきたく思っております。2月に一旦とりまとめとは言うものの、最終決定はまだ先なので、皆さん夢や希望を挙げていただきたいと思っておりますし、それが100%実現できる訳ではございませんが、可能なものからやっていきたく思っておりますので、よろしくお願いします。